

PRIMERGY TX200 S3 Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプ ご使用上の注意

このたびは、弊社の PRIMERGY TX200 S3 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本サーバをご使用になる上での注意および追記事項がございますので、本書をよくお読みの上、ご使用願います。

平成 19 年 1 月
富士通株式会社

■製品の呼び方

本書では、Microsoft® Windows® Storage Server 2003 R2 を Windows Storage Server 2003 R2 と表記します。

■サーバのタイプの呼び方

本書では、Windows Storage Server 2003 R2 があらかじめインストールされている PRIMERGY サーバ製品を Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプと表記します。

■商標

Intel、Xeon は、米国インテル社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

■ 目次

1	保守交換後の動作について	3
1.1	リモートマネジメントコントローラ (iRMC) の設定について	3
2	PRIMERGY TX200 S3 ユーザーズガイド: B7FH-4371-01 についての追記事項	3
3	PRIMERGY TX200 S3 ユーザーズガイド: B7FH-4371-01 についての補足事項	4
3.1	『1.2.3 高信頼ツールの導入について』	4
3.2	『1.5 運用までの流れ』	4
3.3	『2.1 サーバの準備』	5
3.4	『2.2 インストール方法の選択』	5
3.5	『2.3 インストール前の留意事項』	5
3.6	『3 ServerStartによるOSのインストール』	5
3.7	『4.3 手動インストールの開始』	5
3.8	『5.1 メモリダンプ/ページングファイルの設定』	5
3.9	『5.2 システム修復のためのディスクの作成』	5
3.10	『5.5 サーバ運用前の留意事項』	5
3.11	『5.6 LANドライバの詳細設定 [Intel® PROSet]』	6
3.12	『6.1 RAID管理ツール [Global Array Manager]』	6
3.13	『6.2 RAS支援サービス』	6
3.14	『6.3 サーバ監視ツール [ServerView]』	6
3.15	『6.4 保守支援ツール [HRM/server]』	7
3.16	『6.5 REMCSエージェント』	7
3.17	『6.6 システム診断ツール [UpdateAdvisor]』	7
3.18	『6.7 最新ドライバ自動適用ツール』	7
3.19	『6.8 トラブルの早期解決 [PROBEPRO]』	7
3.20	『6.9 トラブルの早期解決 [DSNAP]』	7
3.21	『6.10 トラブルの早期解決 [ソフトウェアサポートガイド]』	7
3.22	『6.11 テープ装置のメンテナンス [Tape Maintenance Advisor]』	8
3.23	『7.3 CPUの増設』	8
3.24	『7.5 拡張カードの取り付け』	9
3.25	『9.6 システムの修復方法』	9
3.26	『9.7 OSの再インストール』	9
3.27	付録『A 本体仕様』	9
3.28	付録『B.1 CPUの仕様』	11
3.29	付録『B.2 メモリの仕様』	11
3.30	付録『B.3 内蔵ハードディスクユニット』	12

1 保守交換後の動作について

1.1 リモートマネジメントコントローラ（iRMC）の設定について

iRMC 機能をご利用のお客様は、以下の点にご注意願います。

iRMC の設定はお客様作業となります。装置の修理においてベースボード交換が生じた場合、以下の情報をお客様にて再設定をお願いいたします。また、その他の設定情報に関しても正しいかご確認をお願いいたします。

- ・リモートマネジメントコントローラアップグレード (PG-RMCU1)「ライセンスキー」登録内容（ご購入の場合のみ）

注意

iRMC の設定情報を復元するために必ず装置に添付されている「環境設定シート」に設定内容を記録し、保管していただくとともに、装置添付の「Server Management Tools」による設定情報のバックアップを行ってください。

リモートマネジメントコントローラを使用してコンソールリダイレクションを行う場合は PRIMERGY TX200 S3 ユーザーズガイドの『付録 D』をご覧ください。

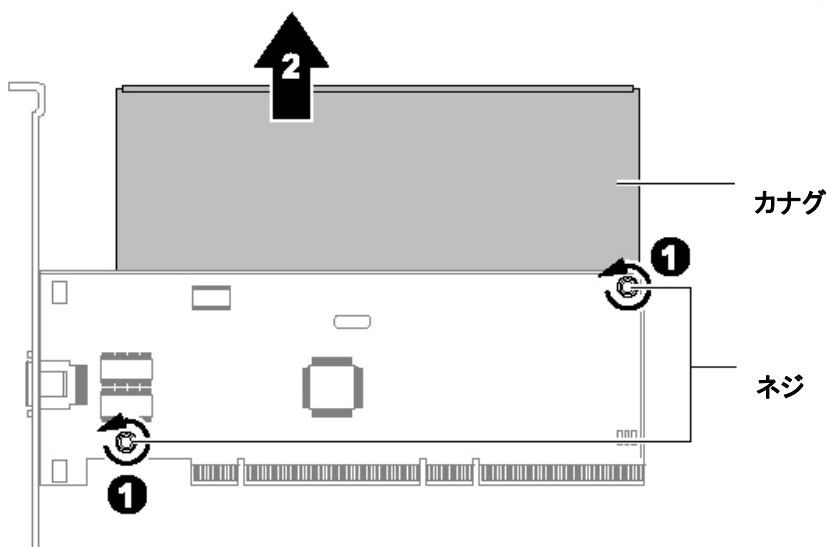
2 PRIMERGY TX200 S3 ユーザーズガイド：B7FH-4371-01 についての追記事項

『7.5.2 搭載可能な拡張カードと搭載時の注意事項（p.256）』

追記

● LAN カード

LAN カード（PG-1862/PG-1882/PG-1892）をスロット 5 に搭載する場合は、あらかじめ LAN カード（PG-1862/PG-1882/PG-1892）に取り付けられているカナグを取り外してください。



また、PCI ボードに固定する際は、ストッパーを4箇所取り付けて固定してください。

『9.8.1 保守サービス (p. 350)』

表：定期交換部品

訂正

誤：

部品名	説明
電源ユニット（標準電源のみ）	24 時間稼働時では約 2 年を経過すると交換時期となります。3 年を経過するまでに交換してください。稼働時間により交換時期が異なりますので、RAS 支援サービスによる交換時期を目安に交換してください。
アレイコントローラカードのバッテリー	電源の投入／切断時間にかかわらず、約 2 年を経過すると交換時期となります。3 年を経過するまでに交換してください。
UPS のバッテリー	電源の投入／切断時間にかかわらず、約 2 年間を経過すると交換時期となります。ただし、周囲温度により、バッテリー寿命が短縮されることがあります。詳細については、UPS の取扱説明書をご覧ください。

正：

部品名	説明
アレイコントローラカードのバッテリー	電源の投入／切断時間にかかわらず、約 2 年を経過すると RAS 支援サービスによる交換予告が通知されます。3 年を経過するまでに交換してください。
UPS のバッテリー	電源の投入／切断時間にかかわらず、約 2 年毎に交換してください。ただし、周囲温度により、バッテリー寿命が短縮されることがあります。詳細については、UPS の取扱説明書をご覧ください。

3 PRIMERGY TX200 S3 ユーザーズガイド：B7FH-4371-01 についての補足事項

3.1 『1.2.3 高信頼ツールの導入について』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプをお使いの場合は、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「PowerUp Gear」を使って高信頼ツールの一括インストールが行えます。同 CD 内の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第 2 章 高信頼ツール」を参照してください。

3.2 『1.5 運用までの流れ』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプ運用の際は、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」を参照してください。

3.3 『2.1 サーバの準備』

Windows Storage Server 2003 R2 では、メモリは最大 4GB までサポートします。

3.4 『2.2 インストール方法の選択』

Windows Storage Server 2003 R2 は ServerStart を使ってインストール/開封を行うことはできません。導入については、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」を参照してください。なお、OS を再インストールするには、添付のリカバリ CD-ROM にてリカバリを行ってください。

3.5 『2.3 インストール前の留意事項』

インストールの前に、ハードディスクユニットの増設等で RAID 構成を再構築する場合は、MegaRAID SAS ユーザーズガイドの『2.3.1 ディスクアレイ構成の作成』を確認の上、最初にシステムエリアとして 73.4GB ディスク 2 台を RAID1 として構築してください。

3.6 『3 ServerStart による OS のインストール』

Windows Storage Server 2003 R2 を ServerStart でインストールすることはできません。Windows Storage Server 2003 R2 の導入については、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」を参照してください。

3.7 『4.3 手動インストールの開始』

Windows Storage Server 2003 R2 を手動インストールすることはできません。添付のリカバリ CD-ROM にて、OS をセットアップしてください。Windows Storage Server 2003 R2 の導入については、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」を参照してください。

3.8 『5.1 メモリダンプ／ページングファイルの設定』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでの手順は、Windows Server 2003 の場合と同じです。

3.9 『5.2 システム修復のためのディスクの作成』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでは、修復ディスクを使用したシステム修復はできません。添付のリカバリ CD-ROM にて、リカバリしてください。詳細は、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第 11 章 ご購入時の状態にする（リカバリ）」を参照してください。

3.10 『5.5 サーバ運用前の留意事項』

『5.5.2 高信頼ツールの一括インストール』

ServerStart に格納されている「高信頼ツール一括導入ツール[PowerUp Gear]」は Windows Storage Server 2003 R2 ではサポートしていません。高信頼ツールの一括インストールについては、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第 2 章 高信頼ツール」を参照してください。

3.11 『5.6 LAN ドライバの詳細設定 [Intel® PROSet]』

『5.6.1 Intel® PROSet のインストール』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプをお使いの場合は、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「PowerUp Gear」を使って高信頼ツールの一括インストールが行えます。同 CD 内の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第 2 章 高信頼ツール」を参照してください。

Intel® PROSet を標準のインストーラでインストールするには、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 内の以下の EXE を起動します。

[CD-ROM ドライブ] : ¥Tools¥GENERAL¥Intel¥PROSET¥PROSETDX¥Win32¥DxSetup. EXE

3.12 『6.1 RAID 管理ツール [Global Array Manager]』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプをお使いの場合は、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「PowerUp Gear」を使って高信頼ツールの一括インストールが行えます。同 CD 内の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第 2 章 高信頼ツール」を参照してください。

3.13 『6.2 RAS 支援サービス』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプをお使いの場合は、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「PowerUp Gear」を使って高信頼ツールの一括インストールが行えます。同 CD 内の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第 2 章 高信頼ツール」を参照してください。

RAS 支援サービスのマニュアルは、本体ユーザーズガイドではなく、「PRIMERGY ドキュメント&ツール CD」内の以下のファイルを参照願います。

[CD-ROM ドライブ] : ¥RASAssist¥TX200S3¥Windows¥WinRAS. pdf

3.14 『6.3 サーバ監視ツール [ServerView]』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプをお使いの場合は、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「PowerUp Gear」を使って高信頼ツールの一括インストールが行えます。同 CD 内の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第 2 章 高信頼ツール」を参照してください。

3.15 『6.4 保守支援ツール [HRM/server]』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプをお使いの場合は、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「PowerUp Gear」を使って高信頼ツールの一括インストールが行えます。同 CD 内の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第 2 章 高信頼ツール」を参照してください。

詳細については、PRIMERGY ドキュメント & ツール CD の「HRM/server for PRIMERGY (Windows/Linux)」の『第 2 章 OSがWindowsの場合』を参照してください。

3.16 『6.5 REMCS エージェント』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプをお使いの場合は、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「PowerUp Gear」を使って高信頼ツールの一括インストールが行えます。同 CD 内の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第 2 章 高信頼ツール」を参照してください。

詳細については、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「REMCS エージェント 運用ガイド」を参照してください。

3.17 『6.6 システム診断ツール [UpdateAdvisor]』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでは、UpdateAdvisor があらかじめインストールされています。UpdateAdvisor はサーバを最新の状態にするためのツールです。詳細は、PRIMERGY TX200 S3 ユーザーズガイドを参照してください。

3.18 『6.7 最新ドライバ自動適用ツール』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでは使用できません。

3.19 『6.8 トラブルの早期解決 [PROBEPRO]』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでは使用できません。

3.20 『6.9 トラブルの早期解決 [DSNAP]』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでは、DSNAP があらかじめインストールされています。DSNAP は、サーバ環境情報などの障害調査用資料を一括取得するためのツールです。詳細は PRIMERGY TX200 S3 ユーザーズガイドを参照してください。

3.21 『6.10 トラブルの早期解決 [ソフトウェアサポートガイド]』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでは、ソフトウェアサポートガイドがあらかじめインストールされています。ソフトウェアサポートガイドはソフトウェアトラブル発生時に必要な情報採取するためのツールです。詳細は、PRIMERGY TX200 S3 ユーザーズガイドを参照してください。

3.22 『6.11 テープ装置のメンテナンス [Tape Maintenance Advisor]』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプをお使いの場合は、セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 の「PowerUp Gear」を使って高信頼ツールの一括インストールが行えます。同 CD 内の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第 2 章 高信頼ツール」を参照してください。

Tape Maintenance Advisor を標準のインストーラでインストールするには、次の操作を行います。



インストールする前に

- ・ メンテナンス対象のテープ装置がサーバに搭載されていることを確認してから行ってください。
- ・ すべてのプログラム（ウイルスワクチンプログラムなど）を終了してください。

1 管理者権限でサーバにログオンします。

2 セットアップ CD for Windows Storage Server 2003 R2 をサーバにセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

4 「名前」に以下のように入力し、[OK]をクリックします。

[CD-ROM ドライブ] : ¥PROGRAMS¥Japanese¥TmAdvisor¥Setup.exe

5 インストーラが起動します。

以降、画面のメッセージに従って、インストールを行ってください。

6 インストール終了後、CD-ROM を取り出して、システムを再起動します。

3.23 『7.3 CPU の増設』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでは以下の CPU をサポートします。

表：使用できる CPU 一覧

品名	型名
Xeon プロセッサ 5110 (1.60GHz/4MB)	PG-FG30R
Xeon プロセッサ 5130 (2GHz/4MB)	PG-FG30S
Xeon プロセッサ 5160 (3GHz/4MB)	PG-FG30T


3.24 『7.5 拡張カードの取り付け』

以下の拡張カードは Windows Storage Server 2003 R2 では使用できません。

FAX モデムカード (FMV-FX533)
通信カード V/X (PG-1631)
ISDN カード (PG-1651)
G3/G4FAX カード (GP5-161)
RS-232C カード (GP5-162)

3.25 『9.6 システムの修復方法』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでは、修復ディスクを使用したシステム修復はできません。添付のリカバリCD-ROMにて、リカバリしてください。詳細は、セットアップCD for Windows Storage Server 2003 R2 の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第11章 ご購入時の状態にする（リカバリ）」を参照してください。

 **POINT** システム修復の際に、ハードディスクユニットの増設やハード故障等の原因で RAID 構成を再構築する場合は、MegaRAID SAS ユーザーズガイドの『2.3.1 ディスクアレイ構成の作成』を確認の上、最初にシステム領域として 73.4GB ディスク 2 台を RAID1 として構築してください。

※RAID を再構築した場合は、システム領域以外のデータも全て消えますので、必要なデータは、再構築前のバックアップデータから復元する必要があります。十分に検討してから実施してください。

3.26 『9.7 OS の再インストール』

添付のリカバリCD-ROMにて、リカバリしてください。詳細は、セットアップCD for Windows Storage Server 2003 R2 の「Windows Storage Server 2003 R2 導入・運用ガイド」の「第11章 ご購入時の状態にする（リカバリ）」を参照してください。

3.27 付録『A 本体仕様』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプの仕様は以下のようになります。

項目			機能・仕様
タイプ			Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプ-73GB×2(RAID1)
型名			PGT20337G
CPU	標準		Xeon プロセッサ 5110 (1.60GHz/4MB)
	変換機構時		Xeon プロセッサ 5130 (2GHz/4MB) Xeon プロセッサ 5160 (3GHz/4MB)
	マルチ数		1(最大 2)
メモリ	標準		1GB (512MB DDR2-667 FBD × 2 枚)
	増設単位		512MB / 1GB / 2GB × 2
	最大容量		4GB
ビデオ RAM 容量			1.7MB
グラフィックス			VGA チップ: iRMC に内蔵 640 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 表示色: 解像度、OS などによって異なる
CD-ROM ドライブベイ			1 ベイ 種類: 24 倍速 ATAPI CD-ROM ユニット 標準搭載 / DVD-RAM (オプション)
5 インチストレージベイ			2 ベイ (空き 2)
3.5 インチストレージベイ			6 ベイ (標準搭載ハードディスクを含む)、SAS 対応、全ベイホットプラグ可能
	システム域		73.4GB (15,000rpm SAS 対応) × 2 (RAID 1)
	データ域	標準	なし
		増設単位	73.4GB (15krpm) /146.8GB (15krpm) /300GB (15krpm)
	内蔵最大	1946.8GB (73.4 × 2+300GB × 6 /内蔵ハードディスクユニットベイ変換機構適用時)	
ディスクアレイ			SAS アレイコントローラカード RAID カード (PG-140F) 標準搭載
拡張スロット			PCI-X スロット (32bit / 33MHz) × 1、PCI-X スロット (64bit / 100MHz) × 2、 PCI-Express x4 スロット× 1、PCI-Express x8 スロット× 1
フロッピーディスクドライブ			3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載
インタフェース			LAN (1000BASE-T) × 1 (ベースボード標準搭載)、LAN (100BASE-T) x1 (ベースボード標準搭載、リモートマネジメントコントローラ専用ポート)、 シリアル× 2、パラレル× 1 (オプション)、キーボード、マウス、ディスプレイ、 USB × 3
キーボード/マウス			標準添付 [注 2]
外形寸法 (単位 : mm)			横幅 286 (突起物含む) ×奥行き 755 ×高さ 474 ラックタイプの場合:483 × 750 (突起物含む) × 177 (占有ユニット 4U)
質量			最大 38kg (ラックマウントタイプは最大 40kg)
内蔵時計精度			誤差 2 ~ 3 分/月
消費電力			575W/2070kJ/h
電源			AC100V (50/60Hz) /二極接地型
電源ユニット			標準で 1 台、最大 2 台 (冗長電源オプション)
ファン			静音ファン 2 個 (冗長化変換機構適用時: 標準ファン 6 個)
エネルギー消費効率 [注 1]			Xeon プロセッサ 5110 d 区分、 0.01089 Xeon プロセッサ 5130 d 区分、 0.00371 Xeon プロセッサ 5160 d 区分、 0.00236
サポート OS			Windows Storage Server 2003 R2, Standard Edition

注 1: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

注 2: ラックマウント変換機構 (PGBR1CK20) にてラックマウントタイプに変更した場合、キーボード/マウスは添付されませんので、別途手配が必要です。

本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

3.28 付録『B.1 CPU の仕様』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでは以下の CPU がサポートされます。

型名	PG-FG30R	PG-FG30S	PG-FG30T
品名	Xeon プロセッサ 5110 (1.60GHz/4MB)	Xeon プロセッサ 5130 (2.0GHz/4MB)	Xeon プロセッサ 5160 (3.0GHz/4MB)
動作クロック周波数	1.60GHz	2.0GHz	3.0GHz
内蔵 2 次キャッシュ サイズ	4MB	4MB	4MB
フロントサイドバス 周波数	1066MHz	1333MHz	1333MHz

3.29 付録『B.2 メモリの仕様』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでは以下のメモリがサポートされます。

表：メモリ仕様

型名	PG-RM1CE	PG-RM2CE	PG-RM4CE
品名	拡張 RAM モジュール-1GB	拡張 RAM モジュール-2GB	拡張 RAM モジュール-4GB
構成	512MB-DDR2 FBD × 2	1GB-DDR2 FBD × 2	2GB-DDR2 FBD × 2
容量	1GB	2GB	4GB
動作クロック周 波数	667MHz		
ピン数	240 ピン		

3.30 付録『B.3 内蔵ハードディスクユニット』

Windows Storage Server 2003 R2 アレイタイプでは以下の内蔵ハードディスクユニットが追加されます。

型名	PG-HDB35A
品名	内蔵ハードディスクユニット-300GB
インタフェース	SAS (Serial Attached SCSI)
記憶媒体	3.5 インチハードディスク
記憶容量 [注 1]	300GB
最大データ転送速度	3Gbit/s
平均回転待ち時間	2.00ms
回転数	15,000rpm
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 [注 2]	0.04 (f 区分)
外形寸法 (W × D × H)	101.6 × 146.0 × 25.4 (mm)
質量 [注 3]	0.8kg

注 1: 記憶容量は、フォーマット時、1GB = 1000³byte 換算です。

注 2: 1GB あたりの消費電力です。

注 3: ホットプラグ用キャリアを含みません。

以上